

憲法はノーベル 平和賞候補 鳥越俊太郎 九条憲法の安倍政権を批判!

ゴールデンウィーク初日の5月3日に、憲法記念日の集いが大阪城野外音楽堂でおこなわれました。会場いっぱい約3000名が参加しました。メインの講演はジャーナリストの鳥越俊太郎さんでした。

憲法はノーベル

平和賞候補

ノーベル平和賞に、ある女性が日本国憲法を候補として申請した。受賞対象は団体や個人しか受け付けないといわれたが「日本国民」として変更受理された。もし受賞できたら安倍首相が「日本国民」を代表して式にのぞむのだろうか。安倍の最近の行動からみると不適格として出席拒否されるだろう。



講演する鳥越氏

集団的自衛権の動き

今、安倍内閣は正面から9条改正の国民的議論をさせ「限定的」という表現をつかいながら閣議決定しようとしている。

関連する一部の法案だけは国会にかけられるだろうが、数をたのんで今年中にやってしまおうとしている。戦後、最悪の独裁政権だろう。

戦争を繰り返さない

今、安倍がねらっているのは教育分野だ。戦争の反省から教育委員会は政治的中立を大原則としてきた。首長(知事や市町村長)が教育に口出しできる制度にかえようとしている。沖縄の竹富町というところで、教科書の採択で文科省が圧力を加えている。

地元の教育委員会は普通の教科書を選んだが、採択区が一緒の石垣市が育鵬社の教科書をえらんだことを理由に竹富町に対して、育鵬社を強制してきている。竹富町は文科省とたたかっている。

メーデーのその後

NHKや新聞社の社長連中と首相は会食を多くもっている。単に食事しているのではなく、原発核の問題などにふれられたくないの、会長や社長をおさえにかかっている。しかし、国民世論が高まってくるとこれらの動きにストップをかけられる。テレビや新聞社に投書や意見を届けよう。世論が現状を変えることができる9条をまもる運動を進めていこう。



くらしと社会保障 平和と民主主義を守ろう

第85回 メーデー

5月1日 初夏を思わせる好天のもと、和泉、高石、泉大津・忠岡でメーデーが行われました。



高石地区メーデー

今年は、安倍政権の「戦争をする国づくり」をめざす憲法改悪、「大企業が1番活動しやすい国」づくりをめざす構造改革推進の走政治に対し、平和とくらしを守り、憲法の生きる日本をめざそうとの強い思いが共有された集会となりました。

メーデーの歴史

メーデーの起源は、1886年5月1日、長時間労働で苦しむアメリカの労働者が8時間労働を要求して約35万人がストライキに立ち上がったことです。

1890年5月1日、世界の労働者が8時間労働を要求してストやデモを展開したのが第1回メーデーです。

今、8時間労働の原則を崩す長時間労働が横行し、裁量労働が拡大され派遣切りなど人間の尊厳が破壊されているとき「8時間働き、8時間睡眠し、残りの8時間は自由な時間に」というメーデーの原点は、人間らしい労働へ今日的な意味をもっています。

泉北教組に加入して、働きやすい職場環境をつくりましょう